

おおさきかみじま

議会だより

第93号 令和8年7月3日発行



内浦漁協潮干狩り（長島）

決まった主なこと 2

8 議員が一般質問 3～11

委員会報告 12～13

追跡・編集後記 14

決まった主なこと

第2回定例会(6月議会)

大崎上島町議会は、令和8年第2回定例会を令和8年6月9日火曜日から8日間の会期で開会した。

8名の一般質問、報告1件、承認1件、議案8件、発議2件を審議し、すべて可決で閉会した。

- ・ 繰越明許費繰越計算書（令和7年度大崎上島町一般会計）について
- ・ 専決処分した事件の承認を求めることについて
- ・ 町道の路線認定について
- ・ 大崎上島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- ・ 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ・ 損害賠償の額の決定及び和解について
- ・ 和解について
- ・ 令和8年度大崎上島町一般会計補正予算（第1号）
- ・ 令和8年度大崎上島町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・ 大崎上島町長の給料の減額に関する条例について
- ・ 地方財政の充実・強化に関する意見書案について
- ・ 全国一律最低賃金制の実現と中小企業への支援を求める意見書案について

2次元コードを読み取ることで
町議会の定例会・臨時会録画放送
を見ることができます



スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールする
ことで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、
ご利用ください。（※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。）



iOS



android



令和8年第2回定例会一般質問通告一覧表

議 員 名	質 問 事 項
(1) 渡辺 年範	小学校規模適正化検討委員会について
(2) 赤松 良雄	フェリーの改善要望について
	災害対策について
	まちかど町長室について
(3) 浜田 幸造	当座浜地区に砂防堰堤の早期建設を
	展望台と登山道の安全点検と適正な維持管理を
(4) 下末 典和	スマート農業について
	歩道の安全について
(5) 末光 透	地方たばこ税を活用した健康増進や環境美化について
	原油高によるフェリー運賃値上げ対策について
(6) 信谷 俊樹	大崎上島町の地域未来構想について
	ゴミステーションの使用について
	町歴史紙について
(7) 水橋 直行	まちかど町長室および車座談義について
(8) 森 ルイ	教育行政について
	町長のあり方について

一般質問

町政を問う

8人の議員が16項目を質問



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

質問（渡辺議員）

新年度になったが未だ委員会は開かれてない。いつ開くのか。また、メンバーの変更は。変更があれば、最初からやり直しに近い議論になるのでは。

答弁（学校教育課長）

7月には絶対開きたい。メンバーは保護者6名が変わっている。引継ぎがされているものと考えている。

質問（渡辺議員）

今年度予算で、委員会5回開催分の36万円を計上しているが、5回で答申を受けるつもりか。

答弁（学校教育課長）

5回というのは予算上の回数であり、増える可能性

問

第2回小学校規模適正化検討委員会の開催は

答

7月には絶対開きたい

もあり、5回で答申を受けることを決定づけるものではない。

質問（渡辺議員）

5回なら5回で濃密に検討し、答申をもらうべきでは。回数も決めない、期限も切らないでは、検討委員会の目的目標が分からなくなるが。

答弁（教育長）

目的の一つとして、統合が視野に入ってなかったら検討委員会には必要ない。統合するかしないかは委員会に託している。

統合するには1〜2年の猶予がある。検討委員会ではどのような局面になったら統合をするかを決めてもらい、次の段階で統合準備

委員会となる。この局面に変わらなないと統合の話は進展しない。

質問（渡辺議員）

その検討委員会の開催が、令和7年度は1回しか開かれなかった。その理由として、メンバーの日程調整の難しさを挙げていたが、今年度は大丈夫なのか。

通常委員会を開催した場合、次回の委員会の開催日程や検討課題を決め、都合の悪い委員には代理出席を求めるなどをするのでは。通常の会議では、過半数の出席があれば成立すると思うが。

答弁（教育長）

次の会議からそのように進めたい。

質問（渡辺議員）

小規模学校を否定するわけではないが、大勢の中で子供を育てたいという統合を望む保護者の声も聴いているが。

答弁（教育長）

あるPTAから小規模学校の存続の要望書が出ている。また、イベントなど様々ところで統合についてどう思われているか聞かすが、「早く統合してください」という声は一度もない。統合の気運が高まってないことが心配である。





あかまつ よしお
赤松 良雄 議員

質問（赤松議員）

① 竹原・安芸津フェリー回数券の有効期限延長やトイレの改善などを要望したが、交渉の結果は。
② 町長自ら「トップ交渉」は。
③ 竹原フェリーの駐車場料金で竹原市長と協議したのか。



問
フェリーの改善は

答 一部改善した

答弁（企画課長）

① 回数券の有効期限の延長は、対応が難しい。女性用トイレは簡易的な改修をした。男子トイレは、構造面等で改修は困難。

答弁（町長）

② フェリー回数券は木江造船海運振興協議会で議論。
③ 竹原市長と駐車場の件は話をしてない。

問
災害対策は

答 職員の意識向上と住民の協力を求める

質問（赤松議員）

防災倉庫や備蓄用食品等購入や消防職員の町への派遣など準備が進んでいるが、近年大雨が増える中、防災対策は。

役場、下水道施設、中電変電所、排水ポンプ場、ガソリンスタンド等の浸水や

停電で数か月あるいは何年も使用できなくなる。

警報5が出た時住民の避難場所をどう確保するのか。断水時や停電時のトイレなど防災対策の課題は多い。

日赤北海道看護大学は避難所設置のため北海道の自治体と合同で16回目の冬季避難訓練を行っている。

避難所生活はトイレに始まりトイレに終わると言われる。最新の防災グッズの導入も検討すべき。訓練で多くの反省点が出てくるため訓練をすべきでは。

答弁（総務課長）

町の防災対策は「自助・共助・公助」で必要な物資の備蓄と適切な管理を行う。また職員の意識向上と体制強化のため、今回新しくマニュアルのチェックリストを作成しているが、行政機能が十分に発揮できない状況も想定され、住民や自主防災組織の協力が不可欠である。

質問（赤松 議員）

本町は「時間雨量何ミリ」までの雨に耐えられる街づくりを想定しているのか。

答弁（町長）

専門家の知見も参考に検討する。

答弁（総務課長）

住民の皆様も巻き込んだ避難訓練を実施する。



問
町長座談会での要望は

答 9月に集約し回答

質問（赤松議員）

町長は「まちかど町長室」を開催しているが、片浜区では、

① 大崎海星高校の存続。
② 大崎親水公園の冠水対策などの質問があった。
各区の住民の要望に対する対応方針は。

答弁（町長）

区民の意見を整理する。

答弁（生涯学習課長）

① 寮（定員30人）の増員は無理なので県等へ予算の要望を行う。

答弁（建設課長）

② 流域調査を委託し、流域の変更が可能か調査を行った。ポンプの水位を下げることで、約1時間確保できる。





はま だ こうぞう
浜田 幸造 議員

質問（浜田議員）

砂防事業は、土石流や崖崩れなどの土砂災害から、地域の安全を守るために砂防堰堤などを建設する事業である。沖浦当座浜地区は、土砂災害警戒危険区域に指定されている溪流であるが、土石流対策施設が整備されていない。下流域の住民の生命財産や県道・町道・集会所・郵便局・医療施設の安全を守るために、砂防堰堤などの砂防施設を早急に整備する必要がある。数年前から、この地区に砂防施設の建設を広島県に要望してきたが、最近になって県は砂防施設などの必要性を説明し

問

当座浜地区に砂防堰堤の早期建設を

答

地籍調査完了後、詳細設計を実施して工事着手する予定

チラシを、地域住民に配布し事業を進めている。いつから工事に着手できるか、現在の進捗状況を聞く。

答弁（建設課長）

当座浜地区の砂防堰堤建設工事は、土砂災害から住民の生命・財産を守るため、広島県は砂防事業を計画している。今後の計画については、調査・測量の実施となるが、現在、沖浦地区において「地籍調査」を行っており、地籍調査完了後、その調査を基に詳細設計を行い、その後、実施設計を基に工事着手する予定。



問

神峰山展望台と登山道の安全点検と適正な維持管理を

答

安全点検の実施や修繕など、適正な管理に努めていく

質問（浜田議員）

神峰山自然公園等整備事業で、広島県が環境省の補助を受けて、平成12年度・平成13年度で展望台（3カ所）・東屋（1棟）・トイレ

（2棟）・登山道（丸太式階段）を設置整備され、町が管理者となって管理を行っている。

展望台は木製で、設置後25年経過しており、安全点検が必要だ。また、金剛寺から頂上（薬師堂）までの登山道は、丸太式階段で造られており、丸太が腐敗し傷みが酷く、登山者が転倒しケガをする危険性が大きい。展望台の安全点検と登山道の適正な維持管理を。県・環境省ともよく協議・連携を図りながら、「安全に登れて、安心して楽しく過ごせる 神峰山」を目指し適正な維持管理を。

答弁（地域経営課長）

神峰山の管理体制としては町の日常的な状況確認に加え、県においても年2回施設の点検が実施されており、危険性が認められる箇所については、必要な修繕や応急対応を行っている。設置後約25年経過し、傷みが酷い箇所も見受けられる。神峰山は多くの町民や来訪

者が訪れる憩いの場所となっており、「山を安全で安心して楽しんでもらえる環境づくり」に、県や環境省とも十分協議・連携を図り、安全点検の実施や修繕など、適正な管理に努めていく。





しもすえ のりかず
下末 典和 議員

問

スマート農業の
支援は

答

今後の支援を
検討する

質問（下末議員）

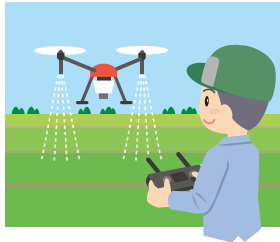
呉市では、ドローン
散布の補助金交付を、
10a当たり7,500
円と助成している。

町では、助成を考え
ているのか。

答弁（地域経営課長）

農業現場においては、
高齢化や後継者不足が
進む中で、作業負担の
軽減や効率化は重要な
課題であると認識して
いる。こうした中、ス
マート農業技術の導入
は、省力化や労働時間
の短縮につながる有効
な手段の一つであると
考えている。

利用ニーズや実施体
制、費用対効果等につ
いて調査を進める中で、



国・県の支援制度の活用も
含め、今後の支援の在り方
について検討する。

（下末議員）

ドローン利用者は、昨年
度、町では、水稻農家で7
月・12軒、8月・13軒、柑
橘農家は、7月・6軒、8
月・8軒になる。町内では、
ドローン散布を個人として
いる町民がいる。全ての方
に納得できる支援制度を。

問

歩道の安全は

答

広島県に対策の要望を行う

質問（下末議員）

白水フェリーから白水駐
在所までの歩道と、片浜地
区親水公園のトイレ前の歩
道は、表面塗料が剥がれて、
中のガラスが出ているが、
その安全対策は。

答弁（建設課長）

白水地区は、経年劣化に
より大部分は剝離されてい
る。転倒時など危険である
ため、広島県に除去の要望
を行う。

片浜地区の親水公園は、
建設課で現地確認し、清掃
等を行う。

質問（下末議員）

町民の方がランニング中
に転んで両手をついてケガ
をしたと聞いた。出来るだ
け早く広島県に伝えてほし
い。

また、ローソン中野店沿
いの県道から進入すると、



段差が5cmほどあり、シニ
アカー、バイク、自転車な
ど転倒の可能性がある。
町内を見渡すと、5cmの
段差が多数見られるが、対
策はできないか。

答弁（建設課長）

特にバイク及び自転車の
運転者には、大変危険と認
識している。引き続き広島
県に歩車道境界ブロックの
段差改善について要望する。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネット
で議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの
注目記事「〇〇議会ただいま生放送中」をクリック
していただければご覧いただけます。

議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は **9月**です

日程は町内放送・ホームページで
お知らせします。



末光 透 議員
すえみつ とおる

問

原油高による
フェリー運賃値上げ対策は

答

運賃改定の報告はない

質問（末光議員）

江田島市の上村汽船が今年6月から約2割の運賃値上げを行うニュースをはじめ、中国地方の計6社が減便や運賃値上げを行う発表が相次いだ。中東情勢の緊迫による原油価格の高騰、円安や物価高による修繕費の増加、そして人口減少による利用者数の減少の問題は、離島に暮らす私たちにとっても同様に切実な課題であり、将来的な航路維持や運賃安定のため、今、対策を考えておくことが必要である。

いて把握しているか。

②燃料価格・修繕費高騰に對する海運会社への追加支援は。

③将来的な運賃値上げの対策は。

答弁（企画課長）

①毎年、各事業者から経営状況の報告を受け、把握に努めている。直ちに運賃改定が行われる報告は受けていない。

②これまでも必要な支援を行ってきた。今後、国や県の動向や支援制度の状況を踏まえながら、適切に判断していく。

③事業者との情報共有や協議を行い、急激な負担増とならないよう配慮を求め、必要に応じた支援策の検討を行う。

①各航路の経営状況と運賃維持の見通しにつ

質問（末光議員）

私たち町民が安心して島での生活が続けられるよう、町と海運会社が十分に連携を取りながら、航路の維持、運賃の安定を目指していただきたい。



問

地方たばこ税の活用は

答

健康増進や受動喫煙防止を推進する。

質問（末光議員）

町民の健康増進のため、フェリー乗り場や公共施設周辺等に受動喫煙を防止する分煙の喫煙場所を整備することが必要では。

①町の地方たばこ税の収入額は。

②「望まない受動喫煙の防止」の取り組みの実施状況は。

③地方たばこ税の税収は、どのような事業目的に使用されているか。

④地方たばこ税の一部を分煙施設整備や環境美化等に活用してはどうか。

⑤地方たばこ税を活用し、その用途を示していく考えはあるか。

⑥総務省税制改正大綱にある、屋外分煙施設整備の特別交付税の助成について

(1)町は、この助成金制度を活用しているか。

(2)民間事業者に助成金制度の活用を推進しているか。

答弁（税務課長）

①過去5年間の税収は毎年4千万円以上。

答弁（健康福祉課長）

②公共施設の屋内禁煙、屋外に喫煙所を設け環境整備を行い、ポスターやリーフレットを活用し周知啓発に努めている。

答弁（総務課長）

③一般財源として町全体で活用している。

④特定施策に充当する考えはない。環境美化や公衆衛生の必要性は検討する。

⑤明示することは難しい。

⑥(1)活用していない。人口規模や費用対効果から必要性が高くないため。

⑥(2)活用していない。喫煙マナーの啓発を行って対策している。今後、制度動向や住民の意見を踏まえて検討する。

（末光議員）

たばこは嗜好品であり、長年吸っている方が急にやめるのは難しい。たばこ税の使い道を示すことで、健康への意識を高めることができる。



信谷 俊樹 議員

問 大崎上島町の地域未来構想は

答

国や県に対して要望を行っている

質問（信谷議員）

大崎上島町の地域未来構想について聞く。

①優良農地と耕作放棄地を調査、分析し活用していくと、これを具体的に今後どのように活用していくのか。
②地場産業成長プランについて町長はどのような成長を考えていくのか。
③地域未来戦略の中でコンクリートプラントのことについて業者と話をしたのか。
④町長はこの3年間で何をしたのか、具体的な成果は。

答弁（町長）

①耕作放棄地について、県の農林水産局と協議を続けており、「離島モデル」というものを作ってほしいと要望している。
②中小船舶の技術がこの島で維持され頑張られているかを県に伝えている。そして、人材育成をどのようにしていくかという支援の要望を国に対して行っている。
③業界の皆さんと力を合わせて何が出来るか検討を深めていく。
④シルバー人材センターの立ち上げ、企業の包括協定を今動けるような形を3年間かけて作ってきたことが成果だと思っている。

問

ゴミステーションの使用について

答

地域住民および関係機関等と連携しながら適正利用の対策を行う

質問（信谷議員）

ゴミステーションの使用について他地域からゴミを持つてきて捨てる人がいるが、不法投棄の対象となるのか、規制できないのであれば、条例を作って規制すべきでは。

答弁（環境衛生課長）

ゴミステーションの管理は、「大崎上島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に規定されており、利用者はゴミを正しく分別し

問

大崎上島町史、歴史写真集をどのように取り扱うのか

答

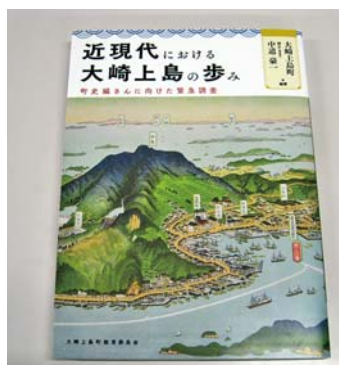
周知、広報活動を行いセット等も含めて販売促進を行いたい

質問（信谷議員）

町史（近現代編）の歴史書が作成されたが、今回完成した歴史書を今後どのように取り扱い販売するのか。また、以前に写真で見える歴史集を作っているが、現在何部残っている、今後どのように対処していくのか。

答弁（生涯学習課長）

近現代における大崎上島



適切なゴミの排出を行わなければならない。地域住民および関係機関等と連携しながら適正利用の対策を行っている。条例改正についても、地域の実態把握や他自治体の事例を踏まえながら必要な制度について調査、研究をしていく。

の歩みは400部を出版し1冊あたり3,800円と設定した。県内の教育委員会や図書館などに寄贈し残りの部数については販売する。町民への無料配布を行う計画はない。情報プラザの図書に持ち出し禁止の書籍として2冊を配置する。また、大崎上島歴史写真集の在庫は、500部在庫がある。今後の販売については、町の広報紙やホームページなどで周知、広報活動を行い、セット等も含めて販売促進を行いたいと考えている。



みすはし なおゆき 議員
水橋 直行

問 議事録公開は

答 審査会の答申を待つ

質問（水橋議員）
①まちかど町長室および車座談義について、議事録を公表しないとしているが、これらは公の場で住民を募集し、役場の職員まで同行させ、録音も行って公式に議事録を作成しているにもかかわらず「記録は公表しない」というのは不自然ではないか。

町長が就任された際の所信表明挨拶で、「徹底した情報公開を行い、町民の信頼を得て町政に臨みたい」との言葉は嘘だったのか。

②車座談義召集の範囲は区長、副区長、班長、その他としていた。町長は一般の町民も含めて広く募集をかけたが、結果として役員の集まりになったと答弁している。副町長の答弁では、最初から「班長以上」への召集といっている。町長と副町長の答弁の齟齬があるが、事実とは。

町の「情報公開条例」の第1条には、「この条は、町民の知る権利を尊重し」と明確に謳われているはずだが、この姿勢は条例を無視しているのではないか。

③情報公開請求を行った町民がいるようだが、返ってきた書類は中身がほとんど黒塗りで、何一つ会話の内容が見られない状態だった

と聞いている。個人名や特定の企業名、あるいは「ここだけの話にしてほしい」と頼まれた会話の部分を部分的に黒塗り（部分開示）にするのであれば理解できるが、公費を使い、公の場で話をした内容であるにもかかわらず、全体を秘密とする正当な理由が分からない。なぜ、一般の町民に対して議事録を頑なに非公開にするのか、公表されたらまずいような内容の話でもしたのか。

答弁（副町長）

①「まちかど町長室」の要約した記録については、すべての区を回り終えた後に、要望や項目を集約・整理し、分かりやすい形でホームページ等により広く公表する。

る。

車座談義は皆様から「忌憚のない、率直なご意見や地区の悩み」をいただきたいという意図から、行政側の記録としては「あくまで役場内での情報共有や利用に留める」という趣旨。

②車座談義は、日頃から区の運営に尽力もらっている区長、副区長、班長などの役員の皆様を対象として行った。

③情報公開への対応については、開催前に参加者全員に「この内容は後日公表・開示されます」という同意を得ていないため、参加者の発言のプライバシーを守る観点から、請求に対しては黒塗りの判断をした。

答弁（町長）

本件の開示の是非につきましては、現在「情報公開審査会」に諮り、第三者による客観的な審議を行っていただいている最中で、町としては、その審査会の審査結果・答申がでた後、その内容に沿って誠実に対応する。



大崎上島町 公式LINE





もり
森 ルイ 議員

問

子どもたちへの
教育の考えは

答

故郷に誇りを持ち、未来に向かつて力強く歩んでいけるよう教育環境の充実に努める

- ①次期学習指導要領に向けた論点整理
- ②小学校規模適正化検討委員会
- ③教育への考え
- ④小学生留学、デュアルスクール

答弁（学校教育課長）

- ①令和12年度から小学校で全面実施の見込み。中教審の論点整理では「資質・能力の育成」個別最適な学びと協同的な学びの一体的な推進「探究的な学び」量から質への転換」があげられている。
- ②次回は6月下旬から7月に開催予定
- ③1人1人に質の高い教育環境を保障し、将来に渡り主体的に学び、

問

町長のあり方は

答

説明責任と信頼関係構築のための対話に重点を置いている

- ①町長の責務と役割、情報公開と説明責任
- ②パワハラに対する認識と職員への接し方
- ③経歴記載の(株)Bee-Hive執行役員の退任時期
- ④町長就任後、公用車や自家用車での交通事故・違反
- ⑤広島商船高等専門学校の卒業式で卒業生の振る舞いを一喝し、恫喝と受け取られる言動があったか

答弁（町長）

- ①地域を代表し住民のために行政を運営する最高責任者で議会に説明責任を負う。議会の民主的な議決により行政が成り立つ。
- 町民との信頼関係構築のためHPやLINEでの情報公開に努めている。
- ②正当な指導は「業務上必要」「適切な範囲」「理由が明確」であるべき。職員を

1つのチーム、大きな家族と考えており、個人として尊重した対応を心がけている。指導は一定の厳しさも必要と考える。

③正式名称は「参事及び大崎上島担当執行役員」で取締役会に議決権を持つて出席する役員ではなく、担当部長と同等の意味合い。従業員として給料をもらう立場の職員だった。

平成31年8月1日付で採用、町長選挙が行われ当選証書を受理した後の令和5年4月26日に代表取締役役面談、退職願を提出し同日付で受理され退職となった。

④公用車での事故は令和7年8月1日夜間、広島市安芸区の東広島バイパス上縁石に接触した。運転席側の前後ホイールカバーが離脱しタイヤホイールの一部が変形したが、衝撃もあま

りなく、事故の自覚もない中で通常運転に支障がないため竹原の駐車場まで戻り、後から竹原署に連絡した。竹原の駐車場で現場検証の後、海田署員と現場でホイールカバーを確認した。広島市内で公務の土木協会総会・交流会が7時過ぎに終わり、会場で話をしてると8時頃になり、宿も見当たらず、始発フェリーで島に戻るために食事と休憩後、午前1時頃の事故。この事故について議会や町民への報告はしていない。自家用車では町外市街地において一時停止違反と右折禁止違反がある。

答弁（総務課長）

②パワハラについて職員アンケートをしたことはないが、今後に向けて考えていく。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：進藤雅通 副委員長：森 ルイ
委員：末光 透 渡辺年範 関田大祐

令和8年6月議会までの
委員会を報告します。

各課から議案となる条例
案、補正予算案、事業や懸
案事項の説明を受け質疑を
行いました。

○学校教育課

Q・小学校の学区の枠を越
え、指定校を変更して入学
した人数は。

A・申請に基づき、指定校
変更の事情があるものを認
め、現在までに12名。

Q・指定校変更をする理由
は。

A・家庭的な理由が多い。

Q・指定校を変更して入学
している状況で、3小学校
を維持する必要があるのか。

A・統合は別として、3小
学校それぞれ特色をいかし
た教育を推進しているため、
将来に向けて検討委員会を
立ち上げ、審議していく。

Q・小規模校のメリットを
生かすのであれば、指定校
は必要なのでは。

A・自由にしても同じでは
ないかという議論もあるが
そうではない。住み慣れた
地域で育てたいと考える方
も多くいる。自由選択制に
すると、地域や学校がなく
なっていくことにもつなが
りかねないため、他の事例
も見ながら考えていく。

○生涯学習課

Q・学びの島コーディネート
ターと地域の方との交流は。

A・学びの島コーディネー
ターは高校に特化したもの
ではなく、幼・小・中、そ
の他の高校も含めて、地域
住民の方との交流を支援し
ている。なるべく幅広い視
点で、誰でも参加しやすい
ように周知していく。

Q・海星高校の寮へ入らな
い方への配慮は。

A・近隣の不動産情報を全
員に配付している。

○健康福祉課

Q・特定健診の受診率が低
いことに対する検証は。

A・受診率が低いのは、受
けようとする動機付けが足
りないものと考ええる。

Q・避難行動要支援者避難
支援プランを作成する要件
は、危険区域に住んでいな
いと対象にならないのか。

A・要介護者（要介護3
以上）・身体障害者（1級、
2級）・知的障害者（A・A）
精神障害者1級・その他支
援が特に必要な方があくま
でも要件となるが、まずは
危険区域に住んでいる方か
ら取り組んでいる。

○総務課

Q・毎日のように町内放送
している林野火災注意報は
いつまで放送するのか。

A・乾燥注意報等、火災が
発生しやすい気候になると
林野火災注意報をだしてい
るが、5月末で放送は一旦
中止となる。日本各地で山
火事が発生しているので、

ご理解をお願いしたい。

○税務課

Q・軽自動車税の環境性能
割が廃止になると古い車は
課税割合が大きくなるので
は。

A・税率はそのまま。それ
とは別に50万円以上の軽自
動車を取得する場合に燃費
の割合に応じて1%から
3%環境性能割を別途払っ
ていたのがなくなる。

○住民課

Q・ふれあいの館の今後の
方向性について。

A・今年度総務課において
施設カルテを策定するので、
慎重に検討していく。

Q・ふれあいの館の従業員
募集について。

A・適任者が見つからず、
新しい方を見つけるという
ことも苦慮している状況。

産業建設常任委員会報告

委員長：赤松良雄 副委員長：下末典和
委員：水橋直行 信谷俊樹 浜田幸造



令和8年6月議会までの
委員会を報告します。
各課から議案となる条例
案、補正予算案、事業や懸
案事項の説明を受け質疑を
行いました。

○環境衛生課

Q・きのえ温泉の管理・運
営は、職員に負担がかかる
ので、外部委託などを検討
しては。
A・外部委託をすることが
可能か検討する。

○建設課

Q・補助金が減額で、起債
の充当は町の負担が増える
のか。
A・増える。

Q・沖浦上の谷県道の払い
下げで道路修繕の必要は。
A・修繕箇所はない。

Q・向山定住促進住宅建設
事業の完成予定はいつか。
A・材料の入手が困難なの
で3月末完成予定。

Q・町道山尻原下1号線改
良事業法面保護の完成時期
は。
A・来年度、河川側に取付
け道を設置し、予算が付い
れば約5年で完成する。

○地域経営課

Q・イノシシの捕獲数は前
年に比べ半分になっている
が、猟師が減っているのが
原因では。
A・猟師は減っていないが、
イノシシの数が減っている。

Q・県の宿泊税でライフ
ジャケットを45着購入する
がサップ用の薄いものにす
べきでは。
A・使いやすいものを検討
する。もう少し購入したい
が予算の制限がある。

Q・農家向け冷風機などの
補助金は国からの2分の1
しか出ないが、町独自でも
補助金を出せないのか。
A・夏の暑さ対策は必要で
あるため検討する。

Q・ハウスの支援に力を入
れているが、既存の支援は。
A・検討する。

○企画課

Q・フェリーは国・県・町
から赤字補てんとして補助
を受けているのであれば、
企業努力を。
A・経費削減も十分図られ、
毎年監査している。
Q・フェリー新設建造費は。
A・約10億円。

Q・新造船の建造について
国に要望していかないと
いけないのでは。
A・国の補助に対して町長
は要望している。議員の皆
さんと連携をとって要望し
ていきたい。

Q・デマンドバス登録者は
A・10代 1054人

20代	807人
30代	465人
40代	744人
50代	713人
60代	397人
70代	460人
80代	446人
90代	131人
合計	5217人

4月は2008件の予約
があった。



追跡 あれからどうなった

(平成28年9月定例議会一般質問から)

質問 情報プラザ・エル開館時間等の見直しは

回答 利用者増加を精力的に取り組む

その後の経過

情報プラザ・エルは、町が掲げる「学びの島」の推進を進める上での、より身近な生涯学習施設として、運営を継続しています。

営業時間の変更は、開設以来ありませんが、利用者の希望する本のリクエストにも応じながら、蔵書数は、令和7年度末で56412冊、利用者も年間27052人となっており、身近な生涯学習施設として、全世代の町民の皆様にご利用いただいています。

また、読書の推進のために実施している、体験型のイベントとして、「えるフェス」(昨年度は、すみれ祭りと同時に開催)の他、毎月、



定期的に有志の団体による読み語りの会が実施されており、町民の利用促進を図っています。

その他、町民が身近に、気軽に利用できる施設として、クーリングシエルトの施設として指定され、快適で、利用しやすい施設として町でもPRを行っています。



大崎上島文化センター

情報プラザ・エル

☆開館時間

午前10時から
午後6時

☆休館日

毎週月曜日
国民の祝日
館内整理日等

編集後記



初夏の心地よい潮風の中、豊かな自然の恵みを感じる潮干狩りの季節を迎えました。こうした大崎上島の美しい環境と安心な暮らしを次世代へ繋ぐため、今回の定例会でも熱心な質疑応答が行われました。

私も議員になり一年が経ち、定例会や委員会地域の行事を通じて、多くの町民の皆様と対話を重ねられたことは私にとって大きな財産です。

一年間の経験を経て、町政への責任の重さを改めて痛感しています。

これからは、これまでの学びを実践に変える時。大崎上島の持続可能なまちづくりに向けて、二年目も邁進していきます。

(下末 典和)

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<https://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

議会広報委員

委員長 森 ルイ
副委員長 末光 透
委員 赤松良雄
委員 水橋直行
委員 進藤雅通
委員 下末典和